

広島市教育センターでは、これまでの取組により①若手教員が傾聴や振り返りを意識化することによる子どもの理解の深化、②推進リーダーが課題分析力の向上を図ることによる授業づくりの専門性向上、③管理職が自校の評価・改善を意識することによるマネジメント力の向上など、いずれの重点事項においても成果をあげることができました。

しかしながら、教員の大量退職・大量採用等、人材育成上の課題が当面予想されることから、引き続き、令和6年度まで「三つの柱」と「三つの内容」に重点をおいた研修を実施します。なお、研修内容について、実施状況等を踏まえながら見直し・改善を図ります。

また、各学校において、校内人材育成計画に基づき、教育センター等で実施する校外研修と連携したOJTを実施するなど、校内研修の充実に向けた取組が一層推進されるよう、引き続き学校の支援を行います。

教育センター重点事項

1

若手教員の育成

初任から3年間にわたる研修を通して、教師としての基礎・基本の定着を図ります。

- ◆初任者研修
- ◆教職経験2年次教員研修
- ◆教職経験3年次教員研修

2

推進リーダーの育成

中堅教員としてチーム力を高め、組織的に学校の教育課題の解決や教育活動の推進に資する人材の育成を図ります。

- ◆教育活動推進リーダー育成研修
- ◆主幹教諭等研修
- ◆教員長期研修

3

管理職の育成

学校組織のリーダーとしての自覚を深め、広い視野に立って、総合的に組織を経営する管理職を育成を図ります。

- ◆新任、経験2年次、経験3年次
園長・校長研修
- ◆新任、経験2年次、経験3年次
教頭研修

子

子どもの理解

一人一人の子どもや学級の状況を把握し変化をとらえる力

個々の子どもや学級、学年全体のことについて、背景を踏まえ、多角的に分析できる力

授

業づくり

自己の実践する授業を、振り返りを通して分析できる力

学力調査等に基づき、自校の課題を評価・分析し、課題を明らかにする力

マ

ネジメント力

学級経営や教科経営を客観的に評価し、改善する力

分掌や学年を客観的に評価し、改善する力

学校経営計画の実現に向けて、学校の現状を客観的に評価し、改善する力

豊富な教職経験と高度な知識や熟練した技能を活かし、教職員の力量形成を支援・指導

1 若手教員の育成

法定研修である「初任者研修」では、教育実践に関する基本的事項について理解し、教育公務員としての自覚をもつとともに、教育活動に必要な実践的指導力を高めることを目的としています。

それに続く「教職経験2年次教員研修」「教職経験3年次教員研修」では、教職への自覚を高め、自立して教育活動を展開していくための素地を培うことを目的としています。



初任者研修



教職経験3年次教員研修

2 推進リーダーの育成

所属長の推薦により受講する研修では、チーム力を高め、組織的に学校の教育課題の解決や教育活動の推進に資する人材の育成を図ります。「主幹教諭等研修」では、学校運営に必要な知識を学ぶだけでなく、学んだ知識を、受講者同士の協議を通してさらに深めていきます。

また、「教育活動推進リーダー育成研修」では、「令和の日本型学校教育」について理解し、ミドルリーダーとして自校の「令和の日本型学校教育」の構築に向けて組織的に教育活動を推進するための実践力を高めます。



主幹教諭等研修



教育活動推進リーダー育成研修

3 管理職の育成

学校組織のリーダーとしての自覚を深め、広い視野に立って、総合的に組織を経営し、教職員の力量形成を支援・指導できる管理職の育成を図ります。「新任教頭研修」では、学校経営における教頭の役割と実務を理解し、実務推進に必要な力量を高めていきます。

また、「新任園長・校長研修」では、学校経営に係る専門的事項について理解し、学校経営に向けての実践力を高めることをねらいとしています。



新任教頭研修



新任園長・校長研修

※令和4年度に実施した研修の様子を掲載しています。